

## 會 報

### ○兒童愛護宣傳

昨年四月湯原前會長の發意で日本幼稚園協會によつて行はれた兒童愛護宣傳は、見事な成功を遂げ、其の結果として、全國各地にそれ／＼盛な同一の運動を見た譯であつた。「時は來れり」と叫ばざるを得ない。

昨年十一月帝國教育會が全國幼稚園關係者大會を特に開催して、此の方面の問題に對し更に一般の氣勢をあげた際、今年こそは全國一致、時を同うして兒童愛護の大々的宣傳を行はうといふことが決議せられ、その時期は、五月五日の子供の節句を中心として、その前後數日の間にといふことに申合はされた。

計畫は全國諸地に著々と行はれた。本會は特に此の舉を促すために、五月五日の申合はせ日を忘れないために、全國に向つて左の如き檄を飛ばした。

五、六、七日が、四、五、六日でも、かまわない要はその中に五日の節句を加え度いといふにある。勿論、此の檄を待たず、各地では全く自覺的に、それ

五月五日……この日ぞ  
 六月一日……  
 七日……

全國兒童愛護の宣傳日

講話に——展覽に——ポスターに——ビラに——此の日を忘れず兒童愛護の宣傳におつくし下さい——全國の人の目に——耳に——心に——實行に。

それ非常の熱心を以て計畫が行はれたのである。殊に大阪や京都の盛な大仕掛けな意氣込みは、まことに驚嘆すべきものであつた。

○

東京は、昨年の全國保育關係者大會で、此の運動の主動者として、日本幼稚園協會と、東京市保育會とが托せられて居た。二つとも微力な會である。殊にいろ／＼の事情で計畫に著手する時機がおくれて居た。到底、大した宣傳は出来ないといふ危まれた。けれども出来るだけやつて見様といふ熱心は、兩會の幹部のうちに牢固たるものがあつた。そして、派手ではないが相當の活動を試みたのである。

一、色刷ポスターをつくつて、市内の各巡査派出所、大商店、湯屋、其他市内各所に掲げた。そのポスターは、中央に桃色地に白ぬき大字で、「こども第一、家の寶、國の寶」と大書し、右に緑字で、「わが子かわいきや ひこの子も」の標語をあらはし、左に「兒童愛護デー」、五月五、六、七日、主催、日本幼稚園協會、東京市保育會と記した。桃色と、若草色との可愛らしい色あひが人の目をひいた。

一、ポスターと同じ標語と、市内十一ヶ所で行ふべき兒童愛護講演會の案内を刷り込んだビラをつくつて、市内、小學校、幼稚園の手を経て、各家庭に配布した。

一、講演會は三段の陣立てにした。第一は主として社會的兒童愛護の稍々理論的講演とし、六日の午後一時半から本郷區帝國大學學生基督教青年會館に開いた。第二は兒童愛護の一般的通俗講演で、六日の夕六時半から市内の小學校に於て開いた。第三は、市内外の保育所に於て、其の地方に適切な通俗的講演會を開いた。其の講演の種類は左の通りである。

◎五月六日午後一時半

○本郷區、帝國大學學生基督教青年會（本郷追分町）

一、挨拶

東京女高師校長 茨木清次郎君

一、歐米に於ける兒童愛護の近狀

東京女高師教授 倉橋惣三君

一、兒童福祉運動

內務省囑託 生江孝三君

一、社會教育上より見たる兒童保護

文部省社會教育課長 乗杉嘉壽君

◎五月六日午後六時半

○麴町區、麴町小學校（麴町區元園町）

一、温情

女子學院長 三谷民子君

一、不良少年に就て

警視廳警部 齋藤清吾君

○京橋區、京橋小學校（京橋區金六町）

一、小兒の神經質と其取扱方

醫學博士 太田孝之君

一、家庭教育

文學博士 下田次郎君

○小石川區、大塚小學校（小石川區大塚仲町）

一、子供の育て方

醫學士 竹 内 薫 兵君

一、親たるつとめ

東京市視學長 佐々木 吉三郎君

○淺草區、千束小學校（淺草千束町）

一、學齡兒童に注意すべき二三の病氣について

醫學博士 栗 山 重 信君

一、幼兒の保護

東京女高師教授 藤 井 利 譽君

○本所區、江東小學校（本所區相生町）

一、家庭の教育

青山女學院學監 塚 本 は ま君

一、少年感化の現状と其の救済

家庭學校長 留 岡 幸 助君

○五月五日午後六時半

○新宿、二葉保育園分園（新宿南裏）

一、親 と 子

勞働矯風會々長 杉 浦 義 道君

一、子供の心を

女高師教授 大 江 壽 美君

○五月六日午後六時半

○日暮里、櫻楓會托兒所（日暮里元金杉）

一、子供の教育と世の中の出来ごと

室 町 市 五 郎君

一、こどもの爲めの家庭の注意

東京府兒童保護員 三 輪 壽 雄君

一、餘興、講談

○深川、元加賀小學校（深川區元加賀町）

一、私共の愛兒の教育

東京市社會教育課長 大 迫 元 繁君

一、私の見たる米國の兒童保護

東京市社會局囑託 山 田 忠 正君

一、餘 興

○五月七日午後六時半

○龜戶、福田會保育所（市外龜戶町）

一、眞に子供を愛せよ

東京府兒童保護員 松 永 大 俊君

一、子供に對する心がけ 土 川 五 郎君

一、餘 興

○麻布、古川橋保育所（麻布古川橋）

一、兒童愛護の中心

## 一、親の苦勞

多川 幾造君

## 一、餘興

倉橋 惣三君

○  
こんどの兒童愛護宣傳で特にねらつたのは、社會的の兒童愛護であつたが、それを目からと耳からと宣傳するばかりでなく、何か實際のことだといふ考へがあつた。その一つとなつて行はれたのが、兒童の無料診察である。醫學博士弘田長氏の特別な御援助のもとに、篤志を以て此の計畫を助けて下さる醫師の方を煩はし、此の爲に喜んで場所は勿論多くの手配りを與へて下さつた保育所の好意によつて、極めて小規模ながら、之れを行ふことが出来たのは、此の宣傳の恐らく第一の仕事であつた。八日は麻布古川橋保育所に於て、午後三時から五時迄、醫學博士森鑽太郎氏及び醫師梶谷俊三氏を煩はし、九日は龜戸町、福田會保育所に於て、午後四時から六時迄、醫師前田文貞氏及び醫師赤坂美佐子氏を煩はし、附近兒童、殊に幼兒の健康診斷をした。多數の子供に對し、各醫師の方々、極めて熱心に診察せられ、

それ／＼必要な注意を母達に個人的に與へられ、時には處方をさへ與へられた。勿論、一時的のことであつて、充分の治療は出来るものでなしそこには醫家の方々も極めて遺憾とせられたが、母親の氣のつかない處を見出して教えてやり、一寸した注意で治ることに必要な手當を與へてやり、子供達は勿論、家庭の爲に、どんなに有益なものであつたらうか。こういうことは永續的でなければ充分効果がないといふことは勿論である。しかし、一般的の衛生講話もそれ／＼の効果が有り、家庭の爲、子供の爲常に行はるゝ處とすれば、こうして實際的に、實地的に、具體的に、個別的に與へられる衛生上の注意が、どんなに有益なものであらうか。論よりも事實が之れを語つて居るのである。且つ我國社會的兒童愛護の最も急務として、兒童の健康相談所を澤山設くる必要がある時、これ亦一つの有効の宣傳となるものと信するのである。實際に其の光景を見、醫師の方々の熱心なる親切と、親たちの喜びと、目に見ゆる様に明かな子供達の幸福を見たものは、皆大きな印象を得た譯であつた。この爲本會は、特に、醫家諸先生の尊志を厚く厚く感謝して居る。